2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	ｲﾝﾃﾘｱ計画Ⅱ			担当教員	藤原真由美	時期	通年
単位数	4	総授業時間数	136	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	インテリア計画Ⅰで学んだ知識を実践にいかせるよう、提案力をつける訓練をする。						
授業の概要	インテリアコーディネーター試験受験とプレゼンテーション技法の習得。						
成績評価方法	成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。 平常点、提出物、検定結果						
使用教材	ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ（上・下）、インテリアコーディネーター1次試験過去問題徹底研究、ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ用語辞典、はじめてのｲﾝﾃﾘｱ製図合格する図面の描き方						
履修上の注意事項							

授業内容

前期			後期		
	単　元	内　容		単　元	内　容
第1回	ｲﾝﾃﾘｱｴﾚﾒﾝﾄ関連ｴﾚﾒﾝﾄ1	ｲﾝﾃﾘｱｴﾚﾒﾝﾄについて学ぶ。	第28回	ｲﾝﾃﾘｱの構造・構法と仕上げ3	造作について学ぶ。
第2-3回	ｲﾝﾃﾘｱｴﾚﾒﾝﾄ関連ｴﾚﾒﾝﾄ2	住宅用家具について学ぶ。	第29回	ｲﾝﾃﾘｱの構造・構法と仕上げ4	造作材について学ぶ。
第4回	ｲﾝﾃﾘｱｴﾚﾒﾝﾄ関連ｴﾚﾒﾝﾄ3	造作部品について学ぶ。	第30回	ｲﾝﾃﾘｱの構造・構法と仕上げ5	内部および外部の建具について学ぶ。
第5-6回	ｲﾝﾃﾘｱｴﾚﾒﾝﾄ関連ｴﾚﾒﾝﾄ4	ｳｲﾝﾄﾞｰﾄﾘｰﾄﾒﾝﾄについて学ぶ。	第31回	ｲﾝﾃﾘｱの構造・構法と仕上げ6	建具金物およびガラスについて学ぶ。
第7-8回	ｲﾝﾃﾘｱｴﾚﾒﾝﾄ関連ｴﾚﾒﾝﾄ5	ｶｰﾍﾟｯﾄについて学ぶ。	第32回	ｲﾝﾃﾘｱの構造・構法と仕上げ7	床および壁仕上げについて学ぶ。
第9回	ｲﾝﾃﾘｱｴﾚﾒﾝﾄ関連ｴﾚﾒﾝﾄ6	ｲﾝﾃﾘｱｵｰﾅﾒﾝﾄ･ｱｰﾄについて学ぶ。	第33回	ｲﾝﾃﾘｱの構造・構法と仕上げ8	天井仕上げおよび塗装について学ぶ。
第10回	ｲﾝﾃﾘｱｴﾚﾒﾝﾄ関連ｴﾚﾒﾝﾄ7	ｷｯﾁﾝ用品について学ぶ。	第34-35回	ｲﾝﾃﾘｱの構造・構法と仕上げ9-10	ｲﾝﾃﾘｱのﾘﾌｫｰﾑについて学ぶ。
第11回	ｲﾝﾃﾘｱｴﾚﾒﾝﾄ関連ｴﾚﾒﾝﾄ8	ｴｸｽﾃﾘｱｴﾚﾒﾝﾄについて学ぶ。	第36-40回	1次試験対策	ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ１次試験の過去問題に取り組む。
第12回	ｲﾝﾃﾘｱｴﾚﾒﾝﾄ関連ｴﾚﾒﾝﾄ9	ｴﾚﾒﾝﾄなどの関連情報について学ぶ。	第41-53回	２次試験対策	ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ２次試験のためのプラン製図や論文を学ぶ。
第13-14回	照明1	照明設備について学ぶ。	第54-72回	製図	ｲﾝﾃﾘｱに関わる図面の描き方を総復習する。
第15回	照明2	水廻り設備について学ぶ。			
第16回	ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの誕生とその背景1	ｲﾝﾃﾘｱ空間について学ぶ。			
第17回	ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの誕生とその背景2	ｲﾝﾃﾘｱの発展について学ぶ。			
第18回	ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの仕事1	ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの職能および実務について学ぶ。			
第19回	ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの仕事2	ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの職域について学ぶ。			
第20-25回	ｲﾝﾃﾘｱ提案課題	これまで学習したことを活かしてｲﾝﾃﾘｱのﾌﾟﾗﾝ提案を行う。			
第26回	ｲﾝﾃﾘｱの構造・構法と仕上げ1	ｲﾝﾃﾘｱの構成、床の構法、壁の構法について学ぶ。			
第27回	ｲﾝﾃﾘｱの構造・構法と仕上げ2	天井の構法、ｽﾍﾟｰｽﾕﾆｯﾄについて学ぶ。			

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	福祉住環境			担当教員	甘利賢一	時期	前期
単位数	3	総授業時間数	102	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	高齢者や障害者、子供など多くの人たちが日常生活を安全で安心して過ごせる住環境を提案するために必要な医療・福祉・建築に関する基礎知識を習得する。						
授業の概要	福祉住環境コーディネーター検定試験の公式テキストをもとに、基礎知識を講義し、検定試験に合格するためのスキルを身につけさせる。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び定期試験並びに検定試験						
使用教材	福祉住環境コーディネーター検定試験３級　公式テキスト(東京商工会議所)						
履修上の注意事項							

授業内容

	単　元	内　容		単　元	内　容
第1回	オリエンテーション	授業説明、DVD鑑賞	第35回	実践事例	地域で取り組む福祉のまちづくり事例
第2回	少子高齢社会	少子高齢社会と共生社会への道	第36～51回	検定対策	過去問題解答、解説
第3回	社会の取り組み	地域社会、社会全体の取り組みの必要性	第52～53回	解説	本試験問題解説
第4回	福祉住環境整備の必要性	日本の住環境の問題点	第54回	まとめ	福祉住環境についてまとめ
第5回	福祉住環境整備の必要性	福祉住環境コーディネーターの役割			
第6回	介護保険制度	高齢者の自立生活を支える介護保険制度			
第7回	障害者総合支援法	障害者総合支援法のしくみ			
第8～12回	健康と自立	老化と健康で自立できる高齢期に必要な食事の改善、運動、ヘルスプロモーション			
第13～14回	障害者の生活不自由の克服	障害の種類と自立障害者の在宅生活と社会参加			
第15～16回	バリアフリーとユニバーサルデザイン	バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方			
第17回	用具の活用	生活の中の問題点と用具の活用			
第18～19回	共用品	共用品の定義と具体例			
第20～21回	福祉用具	福祉用具の定義と役割、分類			
第22～25回	快適な住まい	住まいの整備のための基本技術			
第26～29回	快適な住まい	生活行為別にみる安全・安心・快適な住まい			
第30回	安心できる住生活	ライフスタイルの多様化と住まい			
第31～32回	安心できる住生活	安心できる住生活			
第33～34回	安心できる住生活	安心して暮らせるまちづくり			

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	建築法規			担当教員	藤原真由美	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	68	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	建築関連法令を理解し、各種法的手続きが行える能力を育てる。						
授業の概要	建築基準法、建築士法、建設業法、消防法、品確法、新バリアフリー法、ＰＬ法等、建築に係わる基本的法律を講義する。また、各種法的手続きが行える能力を習得す。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び定期試験						
使用教材	建築関係法令集（建築資料研究社）、図説やさしい建築法規（学芸出版社）						
履修上の注意事項							

授業内容

	単　元	内　容		単　元	内　容
第1回	法規の概要	建築のルール・法規の体系・建築基準法の構成	第19回	単体規定	一般構造・設備（各種設備）
第2回	用語の定義	法令用語・建築基準法用語	第20回	集団規定	敷地と道路の関係・建築制限・敷地面積の最低限度
第3回	面積・高さ・階数の定義	各種面積・建築物の高さ・地盤面・軒の高さ・階数の算定	第21回	集団規定	建築物の用途制限・用途地域
第4回	制度規定	建築手続きに関する用語・必要な行為等	第22回	集団規定	容積率と建蔽率
第5回	単体規定	構造計算・構造規定・構造強度（構造耐力・木造）	第23回	集団規定	高さ制限
第6回	単体規定	構造強度（組積造・CB造）	第24回	集団規定	防火地域
第7回	単体規定	構造強度（鉄骨造）	第25回	雑則	工事現場の安全
第8回	単体規定	構造強度（RC造）	第26回	消防法	消火用設備等の設置基準
第9回	単体規定	防火・避難関係規定（用語の定義）	第27回	消防法	防災機器の設置・維持・火気使用設備等に対する規則
第10回	単体規定	耐火建築物・準耐火建築物	第28回	都市計画法	都市計画と建築
第11回	単体規定	耐火性能検証法・避難安全検証法	第29回	都市計画法	開発行為の規制
第12回	単体規定	防火区画・界壁	第30回	建築士法	建築士業務・義務・建築士事務所
第13回	単体規定	排煙設備・非常用設備等	第31回	建築士法	建築設備士
第14回	単体規定	内装制限	第32回	建設業法	建設業・建設工事
第15回	単体規定	避難施設（廊下・階段・出入口）	第33回	良好な建築を促進する法規	バリアフリー法
第16回	単体規定	一般構造・設備（各種高さ・幅等）	第34回	良好な建築を促進する法規	耐震改修促進法・住宅品質確保法・住宅瑕疵担保履行法
第17回	単体規定	一般構造・設備（採光）	第35回	良好な建築を促進する法規	景観法・都市緑地法・都市再開発法
第18回	単体規定	一般構造・設備（換気）	第36回	良好な建築を促進する法規	その他の関連法規

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	構造力学			担当教員	甘利賢一	時期	前期
単位数	3	総授業時間数	102	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	建築構造設計に関する基礎的な知識を習得させ、構造物を合理的に設計する能力を育てる。						
授業の概要	静定構造物の応力や断面の性質、応力度・変形・座屈の計算、不静定構造物の応力について講義し、演習を通じて解析が出来る能力を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び定期試験						
使用教材	図説やさしい構造力学（学芸出版社）						
履修上の注意事項							

授業内容

	単　元	内　容		単　元	内　容
第1～2回	力とは	基礎的な計算練習と力について	第37～38回	応力とひずみ度の関係	弾性係数、ヤング係数
第3～4回	力のつり合い	力の合成、分解とつり合いについて	第39～40回	許容応力度	許容応力度の計算
第5～6回	荷重の定義	構造モデルの表示法、荷重の種類について	第41～42回	座屈	座屈の計算
第7～8回	反力	単純梁、片持ち梁の反力の求め方	第43～44回	たわみ	たわみとたわみ角について
第9～10回		単純梁系ラーメン、３ヒンジラーメンの反力の求め方	第45～46回	不静定構造	不静定構造について
第11～12回	応力とは	応力の種類について	第47～48回		不静定構造の解法
第13～14回	応力	単純梁の応力の求め方	第49～50回	塑性解析	塑性解析の基礎
第15～16回		片持ち梁の応力の求め方	第51～52回		
第17～18回		単純梁系ラーメンの応力の求め方	第53～54回	まとめ	力学のまとめについて
第19～20回		３ヒンジラーメンの応力の求め方			
第21～22回	トラスとは	トラス構造について			
第23～24回	節点法	トラスの解法について			
第25～26回	切断法	トラスの解法について			
第27～28回	断面の性質	断面１次モーメント、断面２次モーメントの解法			
第29～30回		断面係数、断面２次半径、断面曲次モーメントの解法			
第31～32回	変形	ひずみとひずみ度			
第33～34回	応力度	軸応力度、せん断応力度			
第35～36回		曲げ応力度			

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	建築施工			担当教員	大竹雅英	時期	通年
単位数	4	総授業時間数	136	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員	○	実務経験	設計事務所を営む一級建築士の建築家の教員が、実務経験を踏まえて指導を行う。				
授業の到達目標	建築施工に関する基礎的知識と技術を修得させ、建築現場で実際に活用できる能力を育てる。						
授業の概要	工程計画や施工管理、各工事の施工方法、建築積算など基礎的な知識を講義する。また、現場管理人として必要な知識を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び定期試験。 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材	誰でもわかる　建築施工 改訂3版(彰国社)、構造用教材（日本建築学会）						
履修上の注意事項							

授業内容

	単　元	内　容		単　元	内　容
第1～2回	工事の概要	建築工事の流れと施工管理業務のアウトラインを知る。	第37～38回	鉄骨工事	鋼材の種類、製作工場、溶接、建方、高力ボルト、耐火被覆、施工検査。
第3～4回	請負契約	施工者の選定方式、施工方式と請負の種類、建設業法。	第39～40回	プレキャスト鉄筋コンクリート工事	PRC工事の特徴、製造方法、部材の組立方法、目地の処理。
第5～6回	施工体制	現場代理人、主任技術者、監理技術者の選任、施工体系図。	第41～42回	メーソンリー工事	コンクリートブロック、インターロッキングブロック、レンガ等。
第7～8回	施工計画	施工計画書の種類、確認する内容、実例。	第43～44回	押出成形セメント板工事	ALCパネル、押出し成形セメント板の特徴と施工法。
第9～10回	工程管理	工程表の作成、マイルストーン、ネットワーク工程表の読み方。	第45～46回	防水工事	アスファルト防水、シート防水、塗膜防水、シーリング工事等。
第11～12回	品質管理	品質管理の方法、瑕疵担保責任、住宅の品質確保の促進等に関する法律。	第47～48回	張り石工事	石材の種類と適用部位、乾式工法と湿式工法、施工検査。
第13～14回	安全衛生管理	労働災害の予防、安全施工サイクル活動、作業主任者の選任。	第49～50回	タイル工事	タイルの種類、凍害、張付け工法、目地、施工検査。
第15～16回	環境管理	建設リサイクル法、産業廃棄物、建設公害、環境マネジメントシステム。	第51～52回	木工事	木材の種類、現場施工、接合金物、防腐処理、面材耐力壁。
第17～18回	材料管理	JIS,JASマークの表示、ミルシート、安全データシートの確認。	第53～54回	左官工事	左官材料、下地の種類と調整、施工手順、セルフレベリング材。
第19～20回	各種届出	建築基準法、建設業法、労働基準法、消防法等の法令順守の手続き。	第55～56回	屋根工事	屋根葺きの仕様と勾配、樋・ルーフドレイン、各部のディテール。
第21～22回	測量	測量方法、地縄張り、ベンチマーク、水盛・遣り方。	第57～58回	金属工事	表面処理の方法、接触腐食、笠木・手摺、あと施工アンカー。
第23～24回	地盤調査	標準貫入試検、SWS試験、平板載荷試験、室内土質試験、土質柱状図。	第59～60回	カーテンウォール工事	工法による分類、取付方法、層間変位追従性能、水密性能。
第25～26回	仮設工事	総合仮設計画、工事動線、仮囲い、外部足場、揚重設備、安全対策。	第61～62回	ガラス工事	ガラスの種類と特徴、面スペーサー、水抜き孔、セッティングブロック。
第27～28回	土工事	土の性質、液状化現象、山留め工事、根切り工事、地下水処理工法。	第63～64回	建具工事	建具の種類、材料、性能、金物、検査方法。
第29～30回	杭・地業工事	地業の種類と施工方法、地盤改良工事の工法。	第65～66回	内装工事	床・壁・天井の材料、要求性能、工法、下地組み、断熱工事。
第31～32回	鉄筋工事	鉄筋の種類、加工、組立、定着と継手方法、配筋検査、鉄筋のかぶり厚さ。	第67～68回	塗装工事	材料、素地調整、仕上の種類、施工方法、検査方法。
第33～34回	型枠工事	型枠組立方法と使用材料、せき板・支保工の存置期間、施工検査。	第69～70回	設備工事	給排水衛生、空調、電気、ガス、昇降機、消防等の設備の要求性能。
第35～36回	コンクリート工事	コンクリートの種類、品質、調合、運搬、荷卸し、打込み、締固め、養生。	第71～72回	改修工事 建設工事用機械	防水、外壁、内装、耐震、環境配慮等の改修方法。

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	実験実習			担当教員	甘利賢一	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	68	授業形式	実習	授業場所	実験室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	各種測量技術の基本的技術を習得させる。また、建築材料の特性を実験を通して理解させる。						
授業の概要	測量（平板測量、水準測量、セオドライト測量）の概要・使用方法を講義し、実習により基本操作方法を習得する。 また、材料（木材、鉄筋、コンクリート）の基本的性質を講義し、圧縮・引張り試験により基本的特性を理解する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び定期レポート						
使用教材	建築実習１（実教出版）、建築実習２（実教出版）						
履修上の注意事項							

授業内容

	単　元	内　容		単　元	内　容
第1回	心構え		第19回	鋼材	講義
第2回	距離測量	講義、練習	第20回		
第3回		演習	第21回		引張試験
第4回	平板測量	講義、練習	第22回		
第5回		実習①	第23回	セメント	講義、供試体作成
第6回			第24回		
第7回	内部作業	敷地現況図、三斜丈量図作成	第25回	コンクリート	講義
第8回	水準測量	講義、練習	第26回		調合設計
第9回		実習②	第27回		供試体作成、スランプ試験
第10回			第28回		
第11回	内部作業	レベル図作成	第29回	木材	講義、供試体計測
第12回	総合演習	平板・水準測量実習③	第30回		
第13回			第31回	セメント	圧縮試験
第14回	セオドライト測量	講義、練習	第32回		
第15回		実習④	第33回	木材	試験
第16回			第34回		
第17回	測量総合演習	総合実習⑤	第35回	コンクリート	圧縮試験
第18回			第36回		

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	設計製図Ⅲ			担当教員	片倉隆幸	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	68	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員	○	実務経験	設計事務所を営む一級建築士の建築家の教員が、実務経験を踏まえて指導を行う。				
授業の到達目標	設計製図に関する基本的な知識と技術を総合的に習得させ、図面を構想し作成する能力を育てる。 また、２級建築士レベルの建築スキルを身につけさせる。						
授業の概要	設計課題を通して、建築知識を複合して設計できる能力を習得する。 また、２級建築士　実技試験の問題を通して、実技試験に合格できる実力を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び課題						
使用教材	平行定規Ａ２版、三角スケール、三角定規、製図用シャープペン、型板他						
履修上の注意事項							

授業内容

	単　元	内　容		単　元	内　容
第1回	第１課題出題	2家族がシェアする週末住居の在り方	第19回	提出・講評	図面をレイアウト・模型完成・修正
第2回	プレゼン・講評	A3プレゼンボード提出（思想をコラージュ）	第20回	提出・講評	図面をレイアウト・模型完成・修正
第3回	イメージを発表	講評	第21回	ポスターセッション	講評
第4回	イメージを発表	講評	第22回	ポスターセッション	講評
第5回	実習・講評	平面断面エスキスチェック	第23回	題２課題出題	まちに集う
第6回	実習・講評	平面断面エスキスチェック	第24回	プレゼン・講評	敷地調査
第7回	実習・講評	平面断面エスキスチェック	第25回	イメージを発表	講評
第8回	実習・講評	平面断面エスキスチェック	第26回	イメージを発表	講評
第9回	実習・講評	エスキスチェック	第27回	実習・講評	エスキスチェック
第10回	実習・講評	エスキスチェック	第28回	実習・講評	エスキスチェック
第11回	実習・講評	エスキスチェック	第29回	実習・講評	作図・模型
第12回	実習・講評	エスキスチェック	第30回	実習・講評	作図・模型
第13回	実習・講評	作図・模型	第31回	実習・講評	作図・模型
第14回	実習・講評	作図・模型	第32回	実習・講評	作図・模型
第15回	実習・講評	作図・模型	第33回	実習・講評	作図・模型
第16回	実習・講評	作図・模型	第34回	実習・講評	作図・模型
第17回	実習・講評	作図・模型	第35回	ポスターセッション	講評
第18回	実習・講評	作図・模型	第36回	ポスターセッション	講評

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	建築演習			担当教員	甘利賢一	時期	後期
単位数	4	総授業時間数	136	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	建築に関する知識を深め、卒業後受験する２級建築士　学科試験に合格する。						
授業の概要	２級建築士　学科試験の過去問題及び２級施工管理技士　学科試験の演習をする。これまで学んだ建築の知識を総合的に理解させ、２級建築士に合格できる実力を習得させる。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び定期試験						
使用教材	２級建築士過去７年問題集（成美堂出版）、井上 建築関係法令集（井上書院）						
履修上の注意事項							

授業内容

	単　元	内　容		単　元	内　容
第1～2回	建築史	日本・世界・近代の建築史につてい学ぶ。問題を解く。	第37～38回	動機付け	学習方法の説明、建築士試験に合格すると人生が変わる。
第3～4回	計画一般	建築計画・構造・材料の基本について学ぶ。問題を解く。	第39～40回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。
第5～6回	住宅建築	独立住宅・集合住宅について学ぶ。問題を解く。	第41～42回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。
第7～8回	社会施設	小・中学校・保育園等の建築について学ぶ。問題を解く。	第43～44回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。
第9～10回	社会施設	病院・老人福祉施設等の建築について学ぶ。問題を解く。	第45～46回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。
第11～12回	文化施設	図書館・スポーツ・美術館等の建築について学ぶ。問題を解く。	第47～48回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。
第13～14回	商業施設	事務所・ホテル・劇場等の建築について学ぶ。問題を解く。	第49～50回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。
第15～16回	商業施設	百貨店・一般店舗・駐車場等の建築について学ぶ。問題を解く。	第51～52回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。
第17～18回	建築環境・気候・伝熱・結露	環境・気候・伝熱・結露について学ぶ。問題を解く。	第53～54回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。
第19～20回	換気・日照・日射・日影	換気・日照等について学ぶ。問題を解く。	第55～56回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。
第21～22回	採光・色彩・音環境	採光・色彩・音環境について学ぶ。問題を解く。	第57～58回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。
第23～24回	空調調和設備・電気設備	空調・電気設備について学ぶ。問題を解く。	第59～60回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。
第25～26回	消火・防災設備・給排水設備	防災設備・給排水設備について学ぶ。問題を解く。	第61～62回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。
第27～28回	単体規定	建築法規のあらましについて学ぶ。問題を解く。	第63～64回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。
第29～30回	単体規定	個々の建築物に関わる規定について学ぶ。問題を解く。	第65～66回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。
第31～32回	集団規定	都市環境をつくるための規定について学ぶ。問題を解く。	第67～68回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。
第33～34回	集団規定	手続きなどの規定について学ぶ。問題を解く。	第69～70回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。
第35～36回	関係法規	各種の関係法規について学ぶ。問題を解く。	第71～72回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	卒業設計			担当教員	甘利賢一、藤原真由美 片倉隆幸	時期	通年
単位数	8	総授業時間数	272	授業形式	実習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	専門知識と技術を活かし、建築に関する企画・提案する能力を修得し、問題提起および解決する能力を身につける。個別のテーマを持って研究を実施する。また、発表会の場を通して、説得コミュニケーション能力を習得する。						
授業の概要	テーマを選考、行動スケジュールに従い研究を進める。研究結果は卒業作品を作成し、プレゼンテーションを行う。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び課題 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材							
履修上の注意事項							

授業内容

	単　元	内　容		単　元	内　容
第1回	オリエンテーション	卒業設計の進め方			
第2～5回	第１課題	社会の問題点の発掘			
第6～18回	ゼミナール	個々のテーマに基づき調査し、発表を繰り返し、内容理解を深める			
第19～39回	計画案の作成	ゼミを基にスタディの発表をし、決定に向け始動する			
第39～40回	中間発表①	プレゼンテーションを行う			
第40～70回	計画案の発展	指摘された箇所をブラッシュアップさせ、さらに発展させ詳細の検討をする			
第71～72回	中間発表②	プレゼンテーションを行う			
第73～103回	図面指導	指摘され箇所をブラッシュアップさせ、完成に向け、図面・模型の指導を行う			
第103～140回	プレゼンテーション	提出図面のプレゼンテーション指導を行う			
第141～142回	発表会	各自発表をする			
第143～144回	まとめ	各作品の講評をする			

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	プレゼンテーションⅡ			担当教員	藤原真由美	時期	通年
単位数	2	総授業時間数	68	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	１年次に身につけた伝える技術（プレゼンテーション能力）の更なる向上を目指し、ビジネスの場で必要な表現方法を身につける。						
授業の概要	１年次に学んだプレゼンテーション技法を活用し、実践的なプレゼンテーションを行えるようにする。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及びプレゼンの完成度 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材							
履修上の注意事項							

授業内容

	単　元	内　容		単　元	内　容
第1回	オリエンテーション	プレゼンテーションの課題設定			
第2~4回	【個人】 リサーチ	課題に対するリサーチを行う			
第5~7回	【個人】 プレゼン企画	明確な主題を設定し必要なプレゼン企画を作成する。			
第8~12回	【個人】 プレゼン作成	企画に従いプレゼンテーションを作成			
第13~14回	【個人】 プレゼン発表	発表会を通じて、修正点を見出し改善			
第15~17回	【個人】 プレゼン振り返り	修正点を振り返り、プレゼンを改善をする			
第18～19回	【個人】 再発表	改善したプレゼンを発表・振り返り			
第20回	チーム編成	プレゼンのテーマごとにチームを編成			
第21~23回	【グループ】 リサーチ	課題に対するリサーチを深め、チームでのアイディアを反映さえる			
第24~26回	【グループ】 プレゼン企画	明確な主題を設定し必要なプレゼン企画を作成、チームでの分担を明確にする			
第27~31回	【グループ】 プレゼン作成	企画に従いプレゼンテーションを作成			
第32~33回	【グループ】 プレゼン発表	改善したプレゼンを発表・振り返り			
第34~36回	【グループ】 プレゼンまとめ	プレゼン内容の要点をボードにまとめる			

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	リテラシー			担当教員	林ゆかり	時期	後期
単位数	2	総授業時間数	68	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	自分に必要な、信頼できる、信ぴょう性のある情報を取得できる。ITの利点と危険性を知り、適切に利用できる。 社会の一般常識の知識を得、社会人としての基礎教養をつける。						
授業の概要	情報化社会で必要なリテラシーの習得（ネットワーク・セキュリティ・基本的なＩＴ技術）。企業活動・知的財産権・経営戦略など、会社組織の知識、社会常識として知っておきたいこと（税金・年金・貯蓄・消費税・お金の動きなど）を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び定期試験						
使用教材	情報モラル&情報セキュリティ（FOM出版）						
履修上の注意事項							

授業内容

	単　元	内　容		単　元	内　容
第1回	電子メール	ビジネスメールの書き方	第19回	コンピュータのハードウェア	5大装置とCPU メモリ
第2回	電子メール	電子メールのセキュリティ	第20回	コンピュータのハードウェア	補助記憶装置 入出力装置とインタフェース
第3回	電子メール	電子メールにおける個人情報の考え方	第21回	マルチメディア	バックアップ データ形式とマルチメディア
第4回	情報モラル	情報化社会のモラルとセキュリティ	第22回	コンピュータのハードウェア	5大装置とCPU メモリ
第5回	個人情報	個人情報の取り扱い	第23回	コンピュータのハードウェア	補助記憶装置 入出力装置とインタフェース
第6回	個人情報	個人情報の流出	第24回	信頼性と信ぴょう性	情報の信頼性と信ぴょう性
第7回	デジタル時代の著作権	著作権	第25回	Webコミュニケーション	SNSで情報発信するメリット・炎上
第8回	デジタル時代の著作権	引用	第26回	Webコミュニケーション	災害時のSNS・デマ投稿
第9回	デジタル時代の著作権	レンタルメディア・TV番組・書籍の著作権	第27回	Webコミュニケーション	クラウドを使いこなす
第10回	ネットワーク	インターネットの仕組み	第28回	モバイル機器の管理	モバイル機器のルール違反・セキュリティ
第11回	ネットワーク	通信サービス WWW	第29回	経営戦略	企業活動と組織
第12回	ネットワーク	無線LAN	第30回	経営戦略	企業における会計処理の概要
第13回	セキュリティ	情報セキュリティ	第31回	経営戦略	前者戦略と事業戦略
第14回	セキュリティ	ユーザ認証とアクセス管理	第32回	経営戦略	マーケティング戦略
第15回	セキュリティ	コンピュータウィルス	第33回	経営戦略演習	会社経営の立て直しを図る演習
第16回	セキュリティ	マルウェアとサイバー攻撃	第34回	株式会社の利点	個人出資と共同出資について
第17回	セキュリティ	ネットワークセキュリティ	第35回	景気の変動	為替の変動と景気の変動
第18回	セキュリティ	暗号化・ディジタル署名	第36回	労働基準法	働く若者ハンドブック

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	インテリア計画Ⅰ			担当教員	藤原真由美	時期	通年
単位数	5	総授業時間数	170	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	基礎的な建築の知識、ｲﾝﾃﾘｱ関連商品の知識、ﾃﾞｻﾞｲﾝ史について習得させ、ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰとシテ取得した知識と技術を活かせる能力を育てる。						
授業の概要	ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰに必要な基礎的な建築の知識、ｲﾝﾃﾘｱ関連商品の知識、ﾃﾞｻﾞｲﾝ史について講義する。また、ｲﾝﾃﾘｱﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞﾉ実習を通じ、ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝの手法や考え方などを習得する。						
成績評価方法	成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。 平常点、提出物、検定結果						
使用教材	ﾘﾋﾞﾝｸﾞｽﾀｲﾘｽﾄ資格試験公式ﾃｷｽﾄ、ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ（上・下）、ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ用語辞典、はじめてのｲﾝﾃﾘｱ製図合格する図面の描き方						
履修上の注意事項							

授業内容

	単　元	内　容		単　元	内　容
第1回	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ1	勉強ｽｹｼﾞｭｰﾙの説明やｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの仕事について理解する。	第34回	ｲﾝﾃﾘｱ製図1	ｲﾝﾃﾘｱ空間の平面図の描き方を学ぶ。
第2回	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ２	ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰとして実際に活躍している人の動画を鑑賞する。	第35回	ｲﾝﾃﾘｱ製図2	ｲﾝﾃﾘｱ空間の展開図の描き方を学ぶ。
第3-4回	ﾘﾋﾞﾝｸﾞｽﾀｲﾘｽﾄの仕事	ﾘﾋﾞﾝｸﾞｽﾀｲﾘｽﾄの仕事の内容や心構えなどを学ぶ。	第36回	ｲﾝﾃﾘｱ製図3	ｲﾝﾃﾘｱ空間の詳細図の描き方を学ぶ。
第5-6回	流通	流通の仕組みや業態等について学ぶ。	第37回	ｲﾝﾃﾘｱ製図4	ｲﾝﾃﾘｱ空間のｱｲｿﾒ図の描き方を学ぶ。
第7回	情報	接客販売における「情報」について学ぶ。	第38回	ｲﾝﾃﾘｱ製図5	ｲﾝﾃﾘｱ空間のﾊﾟｰｽの描き方を学ぶ。
第8-9回	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞの基礎知識を学ぶ。	第39-69回	課題制作	設計製図と連携し、自分で計画した住宅のｲﾝﾃﾘｱ計画を行う。
第10回	店舗演出	店舗演出の基本を学ぶ。	第70回	発表会	課題制作で制作した作品をプレゼン発表する。
第11回	DVD鑑賞	ｲﾝﾃﾘｱの本場を巡る動画を鑑賞し、その魅力に触れる。	第71-73回	ｲﾝﾃﾘｱの歴史1	日本のｲﾝﾃﾘｱの歴史を学ぶ。
第12-13回	家具	家具の分類や機能について学ぶ。	第74-76回	ｲﾝﾃﾘｱの歴史2	西洋のｲﾝﾃﾘｱの歴史を学ぶ。
第14-15回	窓装飾	窓装飾のｴﾚﾒﾝﾄについて学ぶ。	第77-78回	ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝの計画1	人間工学について学ぶ。
第16-17回	照明	照明の基礎及び照明器具について学ぶ。	第79-82回	ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝの計画2	ｲﾝﾃﾘｱ計画について学ぶ。
第18-19回	設備	住環境における設備について学ぶ。	第83-84回	ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝの計画3	ﾘﾌｫｰﾑ計画について学ぶ。
第20-21回	住生活ｱｸｾｻﾘｰ	住環境を豊かに演出するｱｲﾃﾑについて学ぶ。	第85回	関連法規等1	建築基準法・消防法について学ぶ。
第22-23回	接客販売1	接客販売の仕事や購買心理などについて学ぶ。	第86回	関連法規等2	品確法・省エネ法について学ぶ。
第24-25回	接客販売2	話し方や身だしなみ、お客様への対応方法などを学ぶ。	第87回	関連法規3	区分所有法・ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ法について学ぶ。
第26-27回	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾏﾅｰ/法規	社会人の基本的ﾏﾅｰ等および住生活産業に関わる法規を学ぶ。	第88回	関連法規4	環境基本法・住生活基本法について学ぶ。
第28-32回	試験対策	ﾘﾋﾞﾝｸﾞｽﾀｲﾘｽﾄ資格試験２級の過去問題に取り組む。	第89回	関連法規5	家庭用品品質表示法・PL法
第33回	検定試験	検定試験を受ける。	第90回	関連法規6	その他法規

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	建築計画			担当教員	甘利賢一	時期	通年
単位数	4	総授業時間数	136	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	建築計画に関する環境工学、建築設備、計画各論および建築史の基礎的な知識を習得させ、建築物を合理的に計画し、設計できる能力を育てる。						
授業の概要	環境工学、建築設備、計画各論、建築史の基礎知識を講義し、建築計画の理念と意義、建築の手法とプロセス、自然環境と住生活条件との関係を修得する。また、理想的生活環境について理解を深めるとともに、基礎知識を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び定期試験 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材	専門士課程　建築計画、インテリアコーディネーターハンドブック総合版						
履修上の注意事項							

授業内容

前期			後期		
	単　元	内　容		単　元	内　容
第1～2回	建築環境	風土・都市環境と建築のかかわりについて理解する	第37～38回	計画の基本	建物を計画する上で必要な基本的知識を理解する
第3～4回	外部気候	気温・湿度・風・雨の自然現象の発生、特徴について理解する	第39～40回	人間工学	人間が使いやすい寸法を理解する
第5～6回	室内気候	温熱感覚の指標について理解する	第41～42回	住宅	戸建て住宅、集合住宅を計画するために必要な基本的な知識を理解する
第7～8回	熱環境	伝熱・断熱の特徴を理解する	第43～44回	商業施設①	事務所・工場を計画するために必要な基本的知識を理解する
第9～10回	換気と通風	大気の成分、換気について理解する	第45～46回	商業施設②	店舗・百貨店を計画するために必要な基本的知識を理解する
第11～12回	日照・日射・日影	太陽光による影響を理解する	第47～48回	商業施設③	劇場を計画するために必要な基本的知識を理解する
第13～14回	色彩環境	色の表色系、心理効果を理解する	第49～50回	商業施設④	ホテル・寄宿舎を計画するために必要な基本的知識を理解する
第15～16回	音環境	音の基本・遮音・吸音・騒音について理解する	第51～52回	商業施設⑤	駐車場を計画するために必要な基本的知識を理解する
第17～18回	冷暖房設備	冷房・暖房設備のメカニズム、種類を理解する	第53～54回	社会施設①	小学校・中学校を計画するために必要な知識を理解する
第19～20回	空調設備	空調方式、種類を理解する	第55～56回	社会施設②	幼稚園・保育園を計画するために必要な知識を理解する
第21～22回	換気設備	換気の目的、種類、計算方法を理解する	第57～58回	社会施設③	病院・診療所を計画するために必要な知識を理解する
第23～24回	電気設備	電気の基礎、配線、電気工事について理解する	第59～60回	社会施設④	老人福祉施設を計画するために必要な知識を理解する
第25～26回	照明設備	照明の種類、照明計算方法を理解する	第61～62回	文化施設①	図書館を計画するために必要な知識を理解する
第27～28回	搬送設備	搬送設備の種類を理解する	第63～64回	文化施設②	美術館・博物館を計画するために必要な知識を理解する
第29～30回	防火防災設備	防火・防災設備の種類を理解する	第65～66回	文化施設③	スポーツ施設を計画するために必要な知識を理解する
第31～32回	給水設備	給水方法、設備を理解する	第67～68回	日本建築史	日本の建築史について理解する
第33～34回	排水設備	排水方法・設備を理解する	第69～70回	西洋建築史	西洋の建築史について理解する
第35～36回	衛生設備	衛生設備について理解する	第71～72回	近代建築史	近代建築の変遷を理解する

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	建築構造・材料			担当教員	甘利賢一	時期	通年
単位数	4	総授業時間数	136	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	各種の建築材料の性質を理解し、適材を適所に用いる能力を育てるとともに、各種の建築構造体の全体および各部を把握することを目標とする。						
授業の概要	各種構造の概要を講義し、設計等の実践に対する応用能力を習得する。また、建築材料の基本的性質・性能を講義し、適性な材料の使用方法を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び定期試験 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材	初めての建築一般構造、構造用教材、インテリアコーディネーターハンドブック総合版						
履修上の注意事項							

授業内容

前期			後期		
	単　元	内　容		単　元	内　容
第1～2回	建築物の変遷	建築物の材料や構造の歴史を通じこれまでの変遷を理解する	第37～38回	主体構造	柱、梁の配筋について理解する
第3～4回	構造の分類	建築構造を構法・形式・材料により分類を理解する	第39～40回		床スラブ、壁、階段の配筋について理解する
第5～6回	木造の特徴	木造の特徴を理解する	第41～42回	Ｓ造の特徴	鉄骨構造の特徴を理解する
第7～8回	木材の性質	木材の性質について理解する	第43～44回	鋼材の性質	鋼材の性質について理解する
第9～10回	木質材料	木材の加工品について理解する	第45～46回	接合	区力ボルト接合、溶接について理解する
第11～12回	在来軸組み工法	構造部分の名称の理解する	第47～48回	骨組	梁、柱、筋交い、柱脚について理解する
第13～14回		木材の説業について理解する	第49～50回		基礎、床組、階段、耐火被覆について理解する
第15～16回	地業と基礎	地業・基礎の種類と特徴を理解する	第51～52回	ＳＲＣ造 ＣＢ造	鉄骨鉄筋コンクリート造とコンクリートブロック造について理解する
第17～18回	軸組	軸組の構造と筋交いについて理解する	第53～54回	その他の構造	プレストレスト構造、プレハブ構造について理解する
第19～20回	小屋組	小屋組について理解する	第55～56回	まとめ	構造のまとめ
第21～22回	床組	床組について理解する	第57～58回	仕上げ①	防水、屋根について理解する
第23～24回	枠組壁工法	各部の構法を理解する	第59～60回	仕上げ②	外壁、床について理解する
第25～26回		接合方法を理解する	第61～62回	仕上げ③	内壁、天井について理解する
第27～28回	構造用大断面集成材構法	構造の特徴、架構方式、接合方式を理解する	第63～64回	仕上げ④	階段、収納、床の間について理解する
第29～30回	ＲＣ造の特徴	鉄筋コンクリート造の特徴、構造形式を理解する	第65～66回	開口部①	建具金物について理解する
第31～32回	鉄筋・コンクリート	鉄筋、コンクリートそれぞれの性質、特徴を理解する	第67～68回	開口部②	外部建具の種類について理解する
第33～34回	配筋の基本	付着、定着、あき、かぶり厚さ等の基本的事項を理解する	第69～70回	開口部③	内部建具の種類について理解する
第35～36回	基礎、地盤	基礎形状、地盤の特徴を理解する	第71～72回	まとめ	仕上げのまとめ

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	設計製図Ⅰ			担当教員	藤原真由美	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	68	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員	○	実務経験	設計事務所勤務経歴をもつ一級建築士の教員が、実務経験を踏まえて指導を行う。				
授業の到達目標	設計製図に関する日本工業規格および製図の基礎的な知識と技術を習得させ、設計図などを正しく読み取る能力を育てる。						
授業の概要	設計製図に関する日本工業規格および製図の基礎的な知識と技術を講義し、実技実習を通して、木造ならびに鉄筋コンクリート造等の図面を描ける能力を習得する。また、快適な建築空間を提案できる能力を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び課題						
使用教材	建築デザイン製図（学芸出版社）、平行定規Ａ２版、三角スケール、三角定規、製図用シャープペン、型板　他						
履修上の注意事項							

授業内容

	単　元	内　容		単　元	内　容
第1回	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	設計製図の目的、心構え、製図規則の説明を行う。	第21回	制作課題1	課題説明
第2回	練習	製図の線・文字の練習をする。	第22回		ｺﾝｾﾌﾟﾄ設定、ｿﾞｰﾆﾝｸﾞ検討
第3回	スケッチ1	抽象画を描く。	第23回		エスキス検討
第4回	スケッチ2	風景と建物を描く。	第24回		エスキスモデル制作
第5回	ﾄﾚｰｽ1	配置図・平面図の説明	第25回		ドローイング
第6-8回		配置図・平面図ﾄﾚｰｽ	第26回		ドローイング
第9回	ﾄﾚｰｽ2	立面図の説明	第27回		プレゼンテーション
第10-12回		立面図のﾄﾚｰｽ	第28回		発表と講評
第13回	ﾄﾚｰｽ3	断面図・展開図の説明	第29回	制作課題2	課題説明
第14-16回		断面図・展開図のﾄﾚｰｽ	第30回		ｺﾝｾﾌﾟﾄ設定、ｿﾞｰﾆﾝｸﾞ検討
第17-18回	表現技法1	ｱｲｿﾒとﾊﾟｰｽの説明、描写	第31回		エスキス検討
第19-20回	表現技法2	着色の練習	第32回		エスキスモデル制作
			第33回		ドローイング
			第34回		ドローイング
			第35回		プレゼンテーション
			第36回		発表と講評

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	設計製図Ⅱ			担当教員	甘利賢一	時期	後期
単位数	2	総授業時間数	68	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員	○	実務経験	設計事務所勤務経歴をもつ一級建築士の教員が、実務経験を踏まえて指導を行う。				
授業の到達目標	設計製図に関する日本工業規格および製図の基礎的な知識と技術を習得させ、設計図などを正しく読み取る能力を育てる。						
授業の概要	設計製図に関する日本工業規格および製図の基礎的な知識と技術を講義し、実技実習を通して、木造ならびに鉄筋コンクリート造等の図面を描ける能力を習得する。また、快適な建築空間を提案できる能力を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び課題						
使用教材	平行定規Ａ２版、三角スケール、三角定規、製図用シャープペン、型板　他						
履修上の注意事項							

授業内容

	単　元	内　容		単　元	内　容
第1回	制作課題１	課題説明	第19回	制作課題２	ドローイング
第2回		デザインの検討	第20回		ドローイング
第3回		コンセプト、ゾーニング検討	第21回		プレゼン準備
第4回		エスキス検討	第22回		プレゼン準備
第5回		エスキス検討	第23回		発表と講評
第6回		エスキスモデル製作	第24回		発表と講評
第7回		ドローイング	第25回	制作課題３	課題説明
第8回		ドローイング	第26回		デザインの検討
第9回		プレゼン準備	第27回		コンセプト、ゾーニング検討
第10回		プレゼン準備	第28回		エスキス検討
第11回		発表と講評	第29回		エスキス検討
第12回		発表と講評	第30回		エスキスモデル製作
第13回	制作課題２	課題説明	第31回		ドローイング
第14回		デザインの検討	第32回		ドローイング
第15回		コンセプト、ゾーニング検討	第33回		プレゼン準備
第16回		エスキス検討	第34回		プレゼン準備
第17回		エスキス検討	第35回		発表と講評
第18回		エスキスモデル製作	第36回		発表と講評

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	建築基礎			担当教員	片倉隆幸	時期	通年
単位数	2	総授業時間数	68	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	世界に影響を与えた建築家の考え方と名作住宅の表現技法を学ぶ。模型製作を通して建築の美しさとつくり方の作法を学ぶ						
授業の概要	20世紀　世界中に強く影響を与えた名作住宅を分析しながら住宅の美しさ、快適さ、巧みなアプローチ、等々様々な方法を探る。また建築家の生きた時代背景を探り現代の建築思潮を考える。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び課題 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材	建築を知る　世界で一番美しい名作住宅の解剖図鑑 増補改訂版　その他　表現技法の本　　ポール・ルドルフ等 模型制作のため　カッター　定規　スコヤー等各自用意						
履修上の注意事項	この間に模型制作の時間を設けたい（職員室の本棚から図面のしっかりした作品を選ぶ）						

授業内容

前期			後期		
	単　元	内　容		単　元	内　容
第1回	建築家とは何をする人１	パワーポイントにて建築家とは？住まい方の思想	第19回	名作住宅の模型製作	考察＆作業
第2回	建築家とは何をする人２	建築を知る　世界で一番美しい住宅の解剖図鑑を俯瞰する	第20回		考察＆作業
第3回	名作住宅１	考察	第21回	名作住宅４	考察
第4回		考察	第22回		考察
第5回		ポスターセッション	第23回		ポスターセッション
第6回	名作住宅２	考察	第24回	名作住宅５	考察
第7回		考察	第25回		考察
第8回		ポスターセッション	第26回		ポスターセッション
第9回	名作住宅３	考察	第27回	名作住宅６	考察
第10回		考察	第28回		考察
第11回		ポスターセッション	第29回		ポスターセッション
第12回	名作住宅の模型製作	考察＆作業	第30回	名作住宅７	考察
第13回		考察＆作業	第31回		考察
第14回		考察＆作業	第32回		ポスターセッション
第15回	名作住宅の模型製作	考察＆作業	第33回	コンテンポラリーの建築と都市	まとめ
第16回		考察＆作業	第34回		まとめ
第17回		考察＆作業	第35回		まとめ
第18回	名作住宅の模型製作	考察＆作業	第36回		まとめ

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	CAD演習Ⅰ			担当教員	甘利賢一	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	68	授業形式	演習	授業場所	パソコン教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	ＣＡＤに関する基礎知識を習得させ、ＣＡＤ操作技術能力を養う。また、設計図の理解力を深める。						
授業の概要	２次元、３次元ＣＡＤに関する基礎知識の講義し、並びに演習により設計図の理解力を深め、ＣＡＤ操作技術を修得する。 ＪＷＣＡＤを使い操作技術を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び課題						
使用教材	Jw_cadで学ぶ建築製図の基本（エクスナレッジ）、ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ（上・下）（ﾊｳｼﾞﾝｸﾞｴｰｼﾞｪﾝｼｰ）						
履修上の注意事項							

授業内容

	単　元	内　容		単　元	内　容
第1～4回	建築表現の基本	建築設計製図、三次元表現、CADの概要説明			
第5～8回	建築製図の基本	建築図面の種類、製図の基礎知識、平面・材料構造の表示記号。			
第9～10回	Jw_cadの基本	左・右クリックの意味、Jw_cadの機能概要、ファイルの作成・保存。			
第11～12回	作図の基本	線の作図・編集、矩形・円・文字・寸法の作図方法。			
第13～14回	製図の準備	レイヤと縮尺、線属性、図面枠、図形、建具データ。			
第15～18回	1階平面図をかく	基準線、柱、開口部、壁、階段、設備機器、家具、室名、寸法。			
第19～20回	2階平面図をかく	基準線、柱、開口部、壁、階段、設備機器、家具、室名、寸法。			
第21～22回	屋根伏図をかく	平面図を参照して、基準線、屋根、勾配、寸法、材料。			
第23～24回	断面図をかく	平面図、屋根伏図を参照して、基準線、屋根、高さ、寸法、材料。			
第25～26回	立面図をかく	平面図、屋根伏図、断面図を参照して、基準線、屋根、寸法、材料。			
第27～28回	配置図をかく	平面図を参照して、基準線、外形線、敷地境界線、添景、寸法。			
第29～31回	演習問題①	図面より情報を読み取り、平面図・立面図を描く			
第32～34回	演習問題②	図面より情報を読み取り、平面図・立面図を描く			
第35～36回	演習問題③	図面より情報を読み取り、平面図・立面図を描く			

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	CAD演習Ⅱ			担当教員	藤原真由美	時期	後期
単位数	2	総授業時間数	68	授業形式	演習	授業場所	パソコン教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	ＣＡＤに関する基礎知識を習得させ、ＣＡＤ操作技術能力を養う。また、設計図の理解力を深める。 ＣＡＤ、模型、スケッチでの表現力を高める						
授業の概要	２次元、３次元ＣＡＤに関する基礎知識の講義し、並びに演習により設計図の理解力を深め、ＣＡＤ操作技術を修得する。 ＡｕｔｏＣＡＤを使いＣＡＤに関する基礎知識と操作技術を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び課題						
使用教材	はじめて学ぶAutoCAD2023作図･操作ガイド						
履修上の注意事項							

授業内容

	単　元	内　容		単　元	内　容
第1回	基本操作	ソフトの起動・終了。画面名称。マウス操作・ファイル管理。	第19回	課題3	木造2階建住宅配置兼1階平面図を描く。家具・住宅設備の作図
第2回	図形の描画	製図コマンドの基本ルール。消去・画面表示方法。直線を描く。	第20回	課題3	木造2階建住宅配置兼1階平面図を描く。文字・寸法の入力
第3回	図形の描画	円・円弧・楕円・四角形・多角形を描く。練習問題1	第21回	課題4	木造2階建住宅2階平面図を描く（S=1/100）画層の使いわける。
第4回	図形を編集	編集コマンドの理解。選択・移動・複写・大きさの変更。	第22回	課題4	木造2階建住宅2階平面図を描く。　通り芯・壁の作図
第5回	図形を編集	かど処理・一部削除。便利な機能を応用する。練習問題2	第23回	課題4	木造2階建住宅2階平面図を描く。 壁・建具の作図
第6回	画層の管理	画層とは。画層の作成（線幅、線種、線色）。	第24回	課題4	木造2階建住宅2階平面図を描く。　見えがかりの作図
第7回	画層の管理	画層を使いこなす。表示・非表示。編集制限。	第25回	課題4	木造2階建住宅2階平面図を描く。　家具・住宅設備の作図
第8回	文字と寸法	モデル空間とペーパー空間。文字スタイルの設定。文字の入力。	第26回	課題4	木造2階建住宅2階平面図を描く。　文字・寸法の入力
第9回	文字と寸法	寸法スタイルの設定。寸法線の入力。	第27回	課題5	木造2階建住宅断面図を描く（S=1/100）画層の使いわける。
第10回	課題1	図面枠の作成。画層の使いわける。	第28回	課題5	木造2階建住宅断面図を描く。勾配と高さのルール。通り芯・壁の作図
第11回	課題2	部分図面の作成。画層の使いわける。	第29回	課題5	木造2階建住宅断面図を描く。 壁・建具の作図
第12回	印刷	印刷スタイルの設定。印刷設定。	第30回	課題5	木造2階建住宅断面図を描く。 見えがかりの作図
第13回	効率よい作業	図面情報・規則機能。ハッチング。	第31回	課題5	木造2階建住宅断面図を描く。 文字・寸法の入力
第14回	効率よい作業	図形の複写。ダウンロード。データ交換。	第32回	課題6	木造2階建住宅立面図を描く（S=1/100）画層の使いわける。
第15回	課題3	木造2階建住宅配置兼1階平面図を描く（S=1/100）画層の使いわける。	第33回	課題6	木造2階建住宅立面図を描く。勾配と高さのルール。通り芯・壁の作図
第16回	課題3	木造2階建住宅配置兼1階平面図を描く。通り芯・壁の作図	第34回	課題6	木造2階建住宅立面図を描く。 建具・見えがかりの作図
第17回	課題3	木造2階建住宅配置兼1階平面図を描く。壁・建具の作図	第35回	課題6	木造2階建住宅立面図を描く。 文字の入力
第18回	課題3	木造2階建住宅配置兼1階平面図を描く。見えがかりの作図	第36回	課題提出	印刷確認・実行。

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	プレゼンテーションⅠ			担当教員	丸山めぐみ	時期	通年
単位数	4	総授業時間数	136	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	自らが自分の考えを持ち、それを伝えるための手段や方法を身に付け、様々なプレゼンテーション演習を通して説明する力や相手を納得させることができる表現力の向上を目指す。						
授業の概要	プレゼンテーションの必要性やテクニックを理解し、実際に発表する機会を数多く体験することで上達を目指す。						
成績評価方法	授業態度、発表態度、作品完成度 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材	見やすい資料のデザイン図鑑（インプレス）						
履修上の注意事項	１２月に行われる合同プレゼン大会での発表が進級課題となる。						

授業内容

前期			後期		
	単　元	内　容		単　元	内　容
第1回	オリエンテーション	授業の目的、到達目標、流れについて	第37～41回	課題4（個人）	PowerPointを使って個人発表準備
第2回	講義１	プレゼンテーションとは 聞き手の階層構造とは	第42~43回	課題4（個人）	発表会
第３回	講義２	論理的アプローチと感情的アプローチの違い	第44回	課題4（個人）	振返り・まとめ
第4回	講義３	わかりやすいプレゼンテーション 情報伝達のコツ	第45~54回	課題5（グループ）	合同プレゼン発表会準備・製作
第5～6回	マインドマップ	自己分析・グループ内発表	第55回	課題5（グループ）	全コース合同プレゼン発表会
第7回	講義４	話しの構成　序論～本論～結論	第56回	課題5（グループ）	振返り・まとめ
第8回	課題１（個人）	話しの構成ルールに従い準備	第57~61回	課題5 （グループ・個人）	グループ発表の内容をA3用紙１枚にまとめる
第9回	課題１（個人）	発表会	第62~68回	課題6（個人）	PowerPointを使って個人発表準備・製作
第10～12回	講義５	KJ法とは？アイデア出しやグループ話し合い練習	第69~70回	課題6（個人）	発表会
第13～19回	課題２（グループ）	グループ発表準備・製作	第71回	課題6（個人）	振返り・まとめ
第20回	課題２（グループ）	発表会	第72回	講義７ まとめ	１年間の総まとめ
第21回	課題２（グループ）	振返り・まとめ			
第22～26回	講義６ PowerPoint	操作説明・操作練習			
第27～33回	課題３（個人）	PowerPointを使って個人発表準備・製作			
第34～35回	課題３（個人）	発表会			
第36回	課題３（個人）	振返り・まとめ			

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	パソコン演習			担当教員	山﨑大輝	時期	通年
単位数	4	総授業時間数	136	授業形式	演習	授業場所	パソコン教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	Word・Excelの基本的な操作法を身につけ、活用することができる						
授業の概要	テキストで基本的な操作方法を身に付け、全経 文書処理能力検定試験・MOS資格取得を目指す						
成績評価方法	出席状況と授業態度および試験 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材	30時間アカデミック情報基礎Word&Excel2019、MOS Microsoft Excel365&2019 対策テキスト&問題集						
履修上の注意事項							

授業内容

前期			後期		
	単　元	内　容		単　元	内　容
第1～7回	タッチタイピング	手元を見ずに入力する技能の習得	第35～44回	文書処理検定対策③	個別に模擬問題を履修
第8～15回	文章入力	漢字変換、≒入力、文節入力、文節の伸縮～文章流力	第45回～46回	Excel：基本の表作成	データ入力、数式基本、関数・表の体裁
第16～17回	ビジネス文書①	ビジネス文書～社内文書の作成、保存	第47回～48回	表の編集と絶対参照	表の作成・表の編集・セルの絶対参照
第18～19回	ビジネス文書②	ビジネス文書～社外文書の作成、フォルダ作成	第49回	グラフの作成と編集	棒グラフ・円グラフ
第20～21回	タブ設定と箇条書き	タブ設定について理解する	第50回	ページレイアウトと印刷	表の印刷・表とグラフの印刷・グラフの印刷
第11～12回	図形要素の挿入①	ワードアート・数式・図形	第51回	データ分析の基礎知識	割合・比率、グラフの基礎知識、グラフの種類と用途
第13～14回	図形要素の挿入②	SmartArt・ページ罫線	第52回	条件で判断する	表の作成とワークシートの操作、条件で判断する
第15～16回	簡単な表作成	表作成の基本を理解する	第53回～第54回	データベースの利用	データベースとは、データを並べ替える、データを抽出する
第17～18回	複雑な表作成①	セルの結合・分割について理解する	第55～第56回	MOS-Excel概要	MOS模擬問題の解き方、検定対策の進め方について
第19～20回	複雑な表作成②	複雑な表を含むビジネス文書の作成	第57～第68回	MOS-Excel検定対策	ＭＯＳ模擬問題の履修
第21回	段組みと縦横の混在	文書タイトルの作成・段組み・縦書きの混在			
第22回	長文に便利な機能①	表紙の挿入・スタイル・ページ区切り			
第23回	長文に便利な機能②	脚注・資料文献・ヘッダーとフッター・スペルチェックと文章校正			
第24～30回	文書処理検定対策 ①	２級過去問題にて概要の確認			
第31～34回	文書処理検定対策②	１級過去問題にて概要の確認			

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	自己表現			担当教員	菱川容子	時期	通年
単位数	2	総授業時間数	68	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員	○	実務経験	テレビ局でのアナウンサー経験を活かし、思いを伝えるのための発生や呼吸法等の指導を行う。				
授業の到達目標	「伝える力」を培い、あらゆる場面で役立つ表現力を身につける。						
授業の概要	基礎となる発声や呼吸法の練習のほか、あがり症克服のメンタルトレーニング、スピーチの基礎を織り交ぜながら、プレゼンテーションや面接など、場面を想定して練習を行う。						
成績評価方法	出席状況と授業態度による						
使用教材	プリント						
履修上の注意事項							

授業内容

	単　元	内　容		単　元	内　容
第1回	オリエンテーション	授業の目的・進め方など	第19回	伝える・聴く	伝える力と聴く力を育む 絵並べゲーム①
第2回	あがり症	あがりのメカニズム アイスブレイク	第20回	伝える・聴く	伝える力と聴く力を育む 絵並べゲーム②
第3回	腹式呼吸	腹式呼吸とは 腹式呼吸練習	第21回	伝える・聴く	伝える力と聴く力を育む リレー物語づくり
第4回	発声と発音	発声のしくみと発声練習 正しい発音と発音練習	第22回	間・静と動	朗読により間をとる練習
第5回	発声と発音	喉の開け方トレーニング	第23回	スピード	朗読でスピードコントロール練習
第6回	表情と姿勢	表情筋トレーニング 姿勢チェック	第24回	音域	朗読で音域を広げる意識づけ
第7回	自己紹介	自己紹介とは、伝え方について 原稿を考えグループ内で発表	第25回	言葉を紡ぐ	アウトプットの練習 与えられた題材からスピーチ
第8回	自己紹介	クラスで発表	第26回	言葉を紡ぐ	
第9回	朗読	朗読でこれまでの学びの実践 ①腹式呼吸 ②姿勢 ③視線 ④強い発声	第27回	即答力	シャッフルスピーチで練習
第10回	朗読		第28回	即答力	
第11回	朗読		第29回	朗読	朗読で学びを定着させる 呼吸、発声、滑舌、間、スピード、音域、表情、姿勢、視線など
第12回	身体	言葉を届ける身体トレーニング	第30回	朗読	
第13回	スピーチ	伝わるスピーチの学びと実践 与えられたテーマで原稿作成・発表 ①語尾　②スピード　③間	第31回	朗読	
第14回	スピーチ		第32回	面接	面接を想定し、姿勢、視線、表情、強い発声を主軸に練習
第15回	質問力	相手の話を聴くコミュニケーション	第33回	面接	
第16回	友人紹介	前回を受けて友人紹介の実践	第34回	スピーチ	各自のテーマでスピーチ発表
第17回	説明力・図形	説明する力と聴く力を育む 図形の説明で実践	第35回	スピーチ	
第18回	説明力・図形	説明する力と聴く力を育む 地図の説明で実践	第36回	学習まとめ	１年の学びの総復習

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	言葉力			担当教員	山極学	時期	半期
単位数	1	総授業時間数	34	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	「言葉は心に届いて初めて言葉」を目標に、読書によって得た美しい言葉を、自分の経験と重ねて「自分の言葉」にする。						
授業の概要	読み手の気持ちを考慮しつつ、相手に伝わる正しい文章を書く練習を重ねながら、自信を持って文章を書く力を養う。						
成績評価方法	出席状況と授業態度による						
使用教材	プリント						
履修上の注意事項							

授業内容

	単　元	内　容		単　元	内　容
第1回	文章を書く目的	読み手を意識した文章の書き方	第10回	修飾語と被修飾語	修飾語と修飾される言葉の距離
第2回	映像を言葉へ	映像を読み手と共感する文章	第11回	文末の統一	「です・ます」と「である・だ」の違い
第3回	書くための準備	考える習慣を持つことの大切さ	第12回	読点・接続語・助詞	正しい使い方で文章をわかりやすくする
第4回	情報と知識	情報と知識の違いを理解する	第13回	指示語	「あれ」「これ」「それ」の違い
第5回	構成メモ	文章の設計図「構成メモ」	第14回	話し言葉	話し言葉やら抜き言葉を使った文章
第6回	文章の構成	様々な構成法を活用する	第15回	文章の長さ	一文の長さや改行を意識した文章
第7回	時系列	時間の流れにそって書く文章	第16回	抽象と具体	抽象的な文章と具体的な文章の違い
第8回	マクロからミクロ	大きな視点から小さな視点へ	第17回	説得力のある文章	根拠と具体例を加えた文章
第9回	主語と述語	主語と述語の関係を意識する	第18回	まとめ	自分の言葉で伝える文章

2023年度　授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	キャリアプランニング			担当教員	藤原真由美	時期	通年
単位数	4	総授業時間数	136	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	自己分析、業界・企業研究の仕方や就職するために必要なスキルを身につけ、自らが積極的に就職活動を行うための準備をする。また、なぜ働くのか、働くにあたって大切にすべきことは何かを考え、企業に必要とされる「人財」を目指す。						
授業の概要	テキストで基礎的な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーションについて学ぶ。 当校オリジナルテキストを使用して就職活動のノウハウ（やり方）と心構え（あり方）を学ぶ。						
成績評価方法	授業態度、課題・宿題提出状況 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材	社会人常識マナー検定テキスト２・３級(全経)、就職活動テキスト						
履修上の注意事項							

授業内容

前期			後期		
	単　元	内　容		単　元	内　容
第1回	オリエンテーション	就職までの流れ、授業のルール	第51回 ~第53回	就職対策	仕事の選び方　求人票の見方
第2回～第4回	第１編 第１章 社会と組織	社会人としての自覚 組織と役割 社会の変化	第54回 ～第58回	就職対策	企業研究
第5回	第２章 仕事と成果	仕事と目標 主体性と組織運営	第59回 ～第62回	就職対策	就活サイト利用登録 適性検査
第6回～第7回	第３章 一般知識	社会常識　ビジネスの基礎用語	第63回 ～第65回	履歴書②	志望動機
第8回～第9回	第３章 一般知識	類義語・対義語 日本を知る	第66回 ～第68回	履歴書②	清書
第10回 ～第11回	第４章 ビジネス計算	計算センスを磨く	第70回 ～第72回	履歴書②	予備日
第12回	就職準備	なぜ働くのか？話し合いまとめ 就職に向けての決意	第73回 ～第75回	メール	ビジネスメールの送り方
第13回	就活準備	内定取得までの流れ 就活用メールアドレスの取得	第76回 ～第80回	面接	就職面接試験対策
第14回 ～第17回	自己分析	自分の特徴　休日の過ごし方 他人から見た自分	第81回 ～第90回	ワークショップ	株式会社をつくろう
第18回 ～第20回	第２編 コミュニケーション	ビジネスコミュニケーション　敬語 ビジネス文書	第91回 ～第93回	手続き説明	学内書類手続き 報告書作成方法など
第21回	第３編 第１章 職場のマナー	組織の一員として	第94回 ～	補足	
第22回	第２章 来客応対	おもてなし　状況に応じた応対	第134回	履歴書③	履歴書用写真撮影
第23回	第３章 電話応対	電話の受け方　かけ方	第135回	電話	企業への電話のかけ方
第24回	第４章 交際業務	慶事のマナー　弔辞のマナー	第136回	まとめ	就職活動開始にあたり
第25回	第５章 文書類について	需は新文書の取り扱い	間に全５回の就職対策授業が入る。		
第26回 ～第34回	過去問題	検定対策			
第３５回 ～第45回	履歴書①	履歴書の書き方 美しい文字の練習			
第46回 ～第50回	履歴書①	封筒の書き方 添え状作成			